タイトル アート・リサーチ原稿テンプレート(MSＰゴシック16pt)

――**サブタイトル(MSＰゴシック14pt)**

阿藤　利紗子（立命館大学文学部　助教）

E-mail [arc@ritsumei.ac.jp](mailto:arc@ritsumei.ac.jp)

阿藤　利紗夫（立命館大学文学部　講師）

##### 要旨

本原稿は、アート・リサーチ原稿テンプレートです。＊＊＊日本語・英語の要旨を必ずつけてください。＊＊＊ここには日本語の要旨を入れてください。

＊＊＊日本語の文字数は200字程度＊＊＊文字の大きさは9pt＊＊＊字体は、日本語はMSＰ明朝、英文はcentury、＊＊＊行間は１行分 (シングルスペース) です。＊＊＊＊＊＊＊＊＊

##### abstract

This template is a guide to prepare manuscript for ART RESEACH. \*\*\*Please be sure to include an abstract in both English and Japanese. \*\*\*Please include an abstract in English here. \*\*\* English is about 100 words. \*\*\*Text size is 9pt. \*\*\*century for English. \*\*\*Line spacing is one line (single-spaced) \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

1. **序論**

本原稿は、アート・リサーチの原稿テンプレートです。原稿執筆にはこのテンプレートをご使用ください。原稿サイズはA4版とし、ページ余白は、上25mm、左20mm、右20mm、下20mmとし、ヘッダーおよびフッダーには何も入れないでください。

1. **文字及び改行**

**2-1.　文字の大きさと改行**

使用言語は、日本語または英語とします。タイトル、著者名、（所属）、メールアドレスを記入してください。日本語のタイトル、サブタイトル、著者名とメールアドレスはＭＳＰゴシック、英文タイトル、サブタイトル、著者名とメールアドレスはTimes New Romanで記入してください。日英共文字の大きさはタイトル16pt、サブタイトル14pt、著者名とメールアドレスは10pt、右寄せで記入してください。

本文は10ptの2段組みとし、片側25字×51行、段間は10mmを基準としてください。

章タイトルの行間は2行分 (ダブルスペース) とし、節タイトルの行間は1行としてください。節と節の間は1行空けてください。

**2-2.　字体**

章タイトル・節タイトルはMSPゴシック太字、10pt、日本語の本文はMSP明朝、英文の本文はCenturyとします。長文の引用は、

長文の引用文は2字下げとします。長文の引用文は2字下げとします。長文の引用文は2字下げとします。

のように、2字下げで引用してください。本文中に注を付す際には1)、左のように「1)」を上付きにします。文末の注釈や参考文献は9ptで表記してください。

1. **図表**

　本文中の図表には通し番号をふり、9pt、MSP明朝、英語の場合はCenturyでキャプションを付してください。キャプションは左揃えで、表の場合は表の上部に、図の場合は図の下部に記してください。

表1 サンプル

|  |
| --- |
|  |

|  |
| --- |
|  |

図1 サンプル

［注釈］

1. 引用された文献の一つとして、山上[1999]があげられる。ここにおいて山上は、ホスピタリティの概念を服部[1994]のものを用いて、一章をその解説にあてている。
2. 服部[1996], p. 69．
3. Teare[1994], pp. 5-6.
4. 難波明生. 計量経済学講義. 日本評論社, 2015, p. 209.
5. 落合成行ほか. HDD用流体軸受スピンドルにおけるラジアル方向衝撃応答実験. 設計工学. 2012, 47(8), pp. 379-385.

https://doi.org/10.20783/DIAS.496

［参考文献］

【雑誌中の論文】

著者名. 論文名. 雑誌名. 出版年, 巻数, 号数, はじめのページ-終わりのページ.

服部四郎. 「上代日本語の母音体系と母音調和」. 『言語』. 1976, 5(6), pp. 2-14.

松原茂樹, 加藤芳秀, 江川誠二. 「英文作成支援ツールとしての用例文検索システム ESCORT」. 『情報管理』. 2008, Vol. 51, No. 4, pp. 251-259.

Pisciella, Paola; Pelino, Mario. FTIR spectroscopy investigation of the crystallization process in an iron rich glass. Journal of the European Ceramic Society. 2005, vol. 25, no. 11, p. 1855-1861.

【一冊の図書】

著者名. 書名. 出版者, 出版年, 総ページ数.

木下是雄. 『理科系の作文技術』. 中央公論新社, 1981, 244p.

Schlick, T. Molecular Modeling and Simulation. Springer-Verlag, 2002, 656p.

【論文集の1論文】

著者名. 論文名. 書名. 編者名. 出版者, 出版年, はじめのページ-終わりのページ.

村主朋英. 「医学分野における動向」. 『電子メディアは研究を変えるのか』. 倉田敬子編. 勁草書房, 2000, pp. 59-97.

Ito, Kenji. “The geist in the institute: The production of quantum physicists in 1930s Japan”, Pedagogy and the Practice of Science. Kaiser, D., ed. MIT Press, 2005, pp. 151-184.

【インターネットのウェブサイト】

著者名. ウェブサイトの題名. ウェブサイトの名称. 更新日付. 入手先(URL), 閲覧日付.

文化庁. 「国語表記の基準 常用漢字表記」. 国語施策情報システム. 2002-11-01.

<http://www.bunka.go.jp/kokugo>. (閲覧日:2009年12月3日).

Phillips, Macon. President Barack Obama’s Inaugural Address. The White House Blog. 2009-12-03.

<http://www.whitehouse.gov/blog/inaugural-address/>, (accessed 2009-12-20).

※文献は、上記のスタイルに従って引用してください。他の記述スタイルを引用する場合は、本論文内で統一されていること。